

あなたの視線耐性を「測る」「分かる」「高める」

『GATSBY 全国統一視線耐性テスト』

10月24日(水)より公開

男性100人によるプレテストの平均点は60点!
あなたの視線耐性スコアは何点!?

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延、以下マンダム)が展開するヤング男性向けコスメブランド「ギャツビー」は、男性のスキンケア意識のさらなる向上を目的に、相手に見つめられたときに自然体でいられる力“視線耐性”に関して、「測る」・「分かる」・「高める」をワンストップで実践できるスマートフォン向けサイト『GATSBY 全国統一視線耐性テスト』を、10月24日(水)より公開します。



『GATSBY 全国統一視線耐性テスト』サイト
<https://shisentaisei.com>



視線耐性に関する調査を実施した結果、2人に1人が「他者の視線が怖い」「ストレスを感じる」と回答、特にその傾向は平成世代※ほど顕著で、約7割が「視線にストレスを感じる」と回答しており、対人関係における悩みとなっていることがわかっています。一方、当社が行っている印象肌研究より、見た目の肌状態の良し悪しが、「清潔感」に影響していることが明らかになっています。そのような状況を受け、ギャツビーは、今後恋愛や就活など様々な人との出会いを控えるヤング男性に向けて、好感度につながる清潔感のある肌を手に入れるためのスキンケアを提案するとともに、楽しみながら簡単に、自身の視線耐性力を、測って、分かって、高めることができる『GATSBY 全国統一視線耐性テスト』をオープンしました。

平成世代の男性100人を対象に視線耐性実験を実施するとともに、初対面の男性に対する女性の視線データも取得し、サイト内コンテンツに活用。さらに、恋愛学で知られる早稲田大学 国際教養学部教授 森川友義氏監修のもとサイトを制作しています。また、人気声優として活躍する尾崎由香さんを起用したトレーニングコンテンツも収録しています。

ギャツビーは、本サイトを通じて、視線を怖がらず自然体でいられるよう視線耐性をつけ、新たな出会いにポジティブに臨めるよう、ヤング男性を応援していきます。

※本調査でいう「平成世代」とは、10～20代の回答者を指します

この件に関するお問い合わせ先

株式会社マンダム
広報部

●大阪本社 奥田/酒井/佐藤
●東京オフィス 下川/村上/萩原/片岡/奥/五嶋
●プレスメール press@mandom.co.jp ●マンダムwebサイト

TEL.06-6767-5021 FAX.06-6767-5045
TEL.03-5766-2485 FAX.03-5766-2486

<https://www.mandom.co.jp/>



『GATSBY 全国統一視線耐性テスト』概要

『GATSBY 全国統一視線耐性テスト』は、視線耐性に関して、「測る」・「分かる」・「高める」をワンストップで実践できるスマートフォン向けサイトです。

■STEP1【測る】 『全国統一視線耐性テスト』

森川教授の監修した15の質問に答えるだけで、自身の視線耐性スコアを100点満点で測定。

感覚的に回答できる内容になっており、約1分で自身の視線耐性スコアと視線耐性レベルを知ることができます。

■STEP2【分かる】 レベル別のあるあるムービー

「測る」で得られた視線耐性レベル別ムービーで、自身のコミュニケーションを俯瞰して理解することができます。

ムービーは、視線耐性レベルごとに5パターンあり、男性が初対面の女性と1対1で話すシーンにおける、レベル別のあるある動作を再現し、森川教授のアドバイスも収録。また、会話中、女性が男性の顔のどこを見ていたかが一目で分かるデータをチェックできます。

■STEP3【高める】 視線耐性トレーニング

人気声優 尾崎由香さんと“見つめ合える”をコンセプトとしたトレーニングムービーで、4つのシーン別に尾崎さんと見つめ合うトレーニングができます。また、初対面の女性が「肌」を見ていることから、肌に自信をつけて、視線耐性を高めるためのスキンケアアイテムをご紹介します。

〈活用データ〉

視線耐性100人実験

2018年9月に一般男性100人、一般女性30人を対象とした視線耐性100人実験において、以下の3つを実施。

①『全国統一視線耐性テスト』のプレテスト実施

男性100人に本サイトと同じ15の質問に回答してもらった結果、視線耐性スコアの平均点は60点であることが分かりました。

②視線データ取得実験

視線データを取得できる機材を装着した初対面の男女が、1対1で向き合って会話をする中で、女性が男性の顔のどこを見ているのか視線データを解析したところ、肌が66.2%（額:21.6%、ほほ:31.7%、あご:12.9%）、目が19.7%、鼻が7.6%、口が6.4%という結果が得られ、女性は男性の「肌」を最も見ていることが分かりました。

③視線耐性レベル別の動作傾向調査

②の実験中に視線耐性スコア別に見受けられた動作を分析し、その傾向を、レベル別のあるあるムービー内で再現しています。

印象肌研究

マンダムが行っている印象肌研究において、ヤング男性の顔印象と見た目の肌状態との関連を調べたところ、見た目の肌状態の良し悪しが『清潔感』と密接な関係があることがわかりました。また、『清潔感』を判断する際には、顔の中でも「ほほ」や「額」をよく見ていることがわかっています。



視線耐性トレーニングコーチ 人気声優 尾崎 由香さん コメント

ファンの皆さんと直接お会いする際に私が意識しているのは、ファンの皆さんの目をしっかり見ることです。会えるのは限られた時間になってしまうため、その時間を大切にしながら、感謝の気持ちを伝えたいという想いで、目を見て話すことを意識しています。でもやっぱり初対面の人と目を合わせるのは緊張してしまいます!男性の皆さんはいかがですか?緊張してしまう!という皆さんにぜひ試していただきたいのが、私がトレーニングコーチを務める、視線耐性トレーニングです。“尾崎由香と見つめ合える”をコンセプトに、4つのシーン別でトレーニングができるので、ぜひ全部試してみてくださいね。視線耐性が高く、清潔感がある人は素敵だと思いますよ♡



◇尾崎 由香(おざき ゆか)プロフィール

声優・歌手。5月15日生まれ、東京都出身。AB型。2015年4月より響にて声優活動を開始。2016年、テレビアニメ『私たち、らくろじ部!』で声優デビュー。2017年、テレビアニメ『けものフレンズ』の主演サーバル役を務め、注目を集める。2018年8月、シングル「LET'S GO JUMP☆」でソロデビューを果たす。

監修 早稲田大学 国際教養学部 教授 森川 友義氏 コメント

現実とはかけ離れた加工写真や日々のハイライトを切り取ったインスタ映え、裏垢(裏アカウント)で表現する本音など、リアル世界では形作れない理想をデジタル上に投影する中で、リアルの自分に自信を失い、同時に対面でのコミュニケーションも減っていきます。その中で低下するのが視線耐性です。そのうえで全国统一視線耐性テストでは、「デジタル依存度」、「対人経験度」、「自分への自信」を軸として質問を構成、1分足らずで自分のスコアが測れます。そして、測ったうえでいかにして視線耐性を上げるかがポイントになります。大切なのはリアルの自分に自信を持つことです。そういった意味では、スキンケアは非常に有効な手段です。鏡越しの自分に向き合う行為は「他人からどう見られているのか」というリアル世界での他者視点を持つきっかけになります。またその中でスキンケアすることは、よりよく見られようと努力する行為であり、毎日積み重ねることで自信へと変わります。リアル世界への関心と自分への自信、一挙両得できる手段としてスキンケアをおすすめします。



◇早稲田大学 国際教養学部 教授 森川 友義(もりかわ とものり)プロフィール

外資系銀行、総合商社、国連専門機関、外務省国連代表部、米国アイダホ州立ルイスラーク大学助教、オレゴン大学客員准教授、早稲田大学国際教育センター准教授等を経て、2004年より早稲田大学国際教養学部教授。「生物学」「経済学」「心理学」の視点から総合的に研究する「恋愛学」という独自の学問を確立。恋愛は「見た目、声、におい」といった五感的魅力が重要である」と説いている。恋愛学講座は受講生があふれるほどの人気講座。